

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	小坂 貴寛
生涯学習課	川村 義輝
子ども未来課	服部 智昭

重点目標	4 豊かな人間性・社会性を育みます
基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。

## 1. 施策の方向性

**PLAN**

1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	<p>①小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。</p> <p>②生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。</p> <p>③地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。</p> <p>④各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組みを協働して進めます。</p> <p>⑤情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。</p>
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	<p>①子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や内面理解の充実を図ります。</p> <p>②学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。</p> <p>③京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。</p> <p>④不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。</p>
3. 家庭・地域の教育力の向上	<p>①各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。</p> <p>②家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。</p> <p>③子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。</p> <p>④子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。</p> <p>⑤子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。</p> <p>⑥保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るために実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。</p> <p>また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。</p>
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	<p>①子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。</p> <p>②学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。</p>

## 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市いじめ防止等基本方針	国、府、学校、地域社会、家庭及びその他の関係者が連携のもと、社会絆がかりでいじめの問題の克服に向けて取り組むとともに、いじめ防止対策推進法第12条の規定に基づき、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進するために策定	平成26年6月	計画期間の定めなし	策定から3年経過を目途に見直し(平成30年度見直し)

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようしていくため、保育所・幼稚園・小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

2. 主な取組と構成事務事業一覧		PLAN	DO	※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照			CHECK	ACT		
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成					決算額(単位:千円)		事務の改善			
主な取り組み	↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R1決算額	R2決算額	R3予算額		評価を踏まえた今後の方向性			
① 小中一貫教育による学校園や校種を超えた交流授業や合同行事など、多様な集団での活動を充実し、子どもたちの自尊感情を高めるとともに、豊かな人間関係や社会性を育みます。										
② 生命を大切にする心や他人を尊重する心などを育むとともに、新たに教科となった道徳科をはじめ、すべての教育活動において、就学前から中学校までの系統性・一貫性のある道徳教育や人権教育を推進します。										
③ 地域の人々との幅広い交流の機会を拡充することで、ルールやマナー、社会常識、社会性を育みます。										
④ 各学園(中学校区)において、学校園、家庭及び地域が子どもたちの生活実態や課題を共有し、規範意識や社会性を高める取組みを協働して進めます。										
⑤ 情報機器の適切な使用やSNSに代表される情報通信ネットワークのルール・モラル等について、児童生徒の実態に応じて具体的に指導するとともに、専門家や保護者、学校支援ボランティア等と連携し、系統的かつ一貫性のある指導体制を整備します。										
1 小学校教育推進活動実践事業	学校教育課	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。	1,667	3,527	1,853		現状維持			
2 中学校教育推進活動実践事業	学校教育課	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。	1,230	3,161	1,380		現状維持			
2. 生徒指導体制・教育相談体制の充実		決算額(単位:千円)			事務の改善					
主な取り組み	↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R1決算額	R2決算額	R3予算額		評価を踏まえた今後の方向性			
① 子どもたちが集団生活を通して課題を解決する意欲と実践力を身に付けることができるよう、一人ひとりの生活実態の把握や、内面理解の充実を図り										
② 学校園の状況に応じてスクールサポーターを配置するなど、子ども一人ひとりの課題やニーズに対応するきめ細かな支援体制を整備します。										
③ 京丹後市いじめ防止等基本方針に基づき、組織体制の整備を行うとともに、関係機関と連携し、いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処のための対策を総合的かつ効果的に推進します。										
④ 不登校等の児童生徒の多様な実態と課題に対応し、学校復帰と社会的自立を支援するため、教育支援センター「麦わら」の相談・支援体制の充実及び機能強化を図ります。										
3 いじめ防止啓発推進事業	学校教育課	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	199	116	1,681		現状維持			
4 いじめ防止対策等運営事業	学校教育課	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	285	253	374		現状維持			
5 指導主事設置事業	学校教育課	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事(会計年度任用職員)4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。	10,031	11,941	12,909		現状維持			
6 就学支援・教育相談事業	学校教育課	児童生徒の不登校など学校不適応の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。	247	222	321		現状維持			
7 教育支援センター管理運営事業	学校教育課	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。	7,794	10,275	11,420		現状維持			
8 小学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	36,966	53,166	72,396		現状維持			
9 中学校スクールサポーター等設置事業	学校教育課	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。	28,007	39,572	45,902		現状維持			

3. 家庭・地域の教育力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 各学園(中学校区)の学校園、家庭及び地域が、育みたい子ども像や児童生徒の実態及び課題を共有し、緊密に連携して指導を行うしくみづくりを進めます。					
② 家庭は自己肯定感や豊かな心、他者に対する思いやりや命を大切にする気持ちなどを養う最も重要な役割を担う場ととらえ、PTA等と連携しながら、乳幼児期から思春期(中学生)までの子どもの成長段階に応じた家庭教育支援を進めます。					
③ 子どもの豊かな人間性・社会性を育むとともに、孤立しがちな親や子育てに悩みを抱えている親への支援等のため、家庭子ども相談室による相談や関係機関の連携による支援を実施します。また、家庭教育支援チームの活動を進めるとともに、関係団体の活動を支援します。					
④ 子どもたちが身近な地域で体験や交流ができる活動の充実を図る。					
⑤ 子どもたちの放課後の居場所づくりのため、地域ボランティアの協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動を行うとともに、地域における子どもたちの活動拠点を確保するための事業の拡充を進めます。					
⑥ 保護者の就労状況の多様化や家庭環境の変化に伴い、放課後における児童の健全育成を図るために実施している放課後児童健全育成事業の利用が増加しています。利用ニーズを的確に把握するとともに、サービス体制や施設環境の整備を推進し、待機児童ゼロを継続します。 また、青少年の健全育成と安全・安心な地域づくりのため、青少年健全育成会をはじめ、関係団体と連携した効果的な活動を進めます。					

10 家庭こども相談室事業	子ども未来課	289	147	272	現状維持
家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。					
11 家庭教育事業	生涯学習課	1,574	810	1,750	現状維持
発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。					
12 放課後児童健全育成事業	子ども未来課	177,977	283,042	223,981	現状維持
保護者の就労等により放課後や長期休業期の昼間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。					
13 放課後児童健全育成事業(繰越)	子ども未来課	-	2,505	-	
(仮称)大宮峰山インターチェンジアクセス道路の整備に伴い、計画区域にある峰山放課後児童クラブ園舎及び付属施設を解体撤去する。					
14 子ども放課後対策推進事業	子ども未来課	874	507	780	現状維持
放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。					

4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成		決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み		R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 子どもが生涯にわたって自然や歴史、仲間、多様な人々と関わり合う体験活動や、学校支援ボランティア等の専門的な知見や技能を活用するなど、我が国や京丹後市の伝統文化や自然環境、文化・芸術等に親しみ、学ぶ機会を充実します。					
② 学校園や家庭での読書活動により子どもの豊かな情緒を育むため、関係機関・団体等との連携・協力関係をさらに強化し、学校園、家庭及び地域が一体となった取り組みを進めるとともに、学校図書館の機能強化を図ります。					

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業					
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	R1決算額	R2決算額	R3予算額	評価を踏まえた今後の方向性
放課後子ども総合プラン事業	子ども未来課				
国の「放課後子ども総合プラン」に基づき実施する、放課後子ども教室の運営方法を検討するため運営委員会は、任期満了に伴い、必要な審議等を子ども未来まちづくり審議会にて行うこととした。					統合(整理)
	計	267,140	409,244	375,019	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本の方針	学校園、家庭、地域及び行政の協働により、子どもたちが周囲からの愛情や信頼、期待などに「包み込まれているという感覚」を育むとともに、人や社会との絆、思いやりを大切にする豊かな人間性・社会性を育みます。 また、不登校等の課題がある児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。				
主な目標指標	目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)	目標値
			年度	年度	年度
	不登校児童の出現率<小学校>	一	5人/0.16% H25	14人/0.58% R2	減少させる R6
	不登校生徒の出現率<中学校>	一	47人/2.49% H25	50人/3.71% R2	減少させる R6
	いじめの認知件数/認知率<小学校>	一	386件/12.7% H25	350件/14.5% R2	減少させる R6
	いじめの認知件数/認知率<中学校>	一	189件/10.2% H25	28件/2.1% R2	減少させる R6

目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度		目標値 年度	
			年度	年度		
主な目標指標	認知されたいじめの年度内解消率<小学校>	—	357件/92.5%	H25	92.6% (いじめの解消要件が定義されたため、令和2年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R2 100% R6
	認知されたいじめの年度内解消率<中学校>	—	181件/95.8%	H25	96.0% (いじめの解消要件が定義されたため、令和2年度第2回調査の追跡調査結果を記載)	R2 100% R6
	いじめはいけないことだという意識がある児童の割合<小学生>	%	97.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	95.3% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	いじめはいけないことだという意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.9 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	98.1% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	学校のきまりや規則を守る意識がある児童の割合<小学生>	%	93.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	88.8% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	学校のきまりや規則を守る意識がある生徒の割合<中学校>	%	90.8 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	96.6% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.4 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	93.0% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	人の気持ちが分かる人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	95.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	98.0% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	人の役に立つ人間になりたいと思う児童の割合<小学生>	%	94.0 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙小6	H25	94.7% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合<中学生>	%	93.2 「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問用紙中3	H25	97.5% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6
	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<小学生>	%	-		68.0% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2 増加させる R6

目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度
主な目標指標	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合<中学生>	%	-	71.8% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2	増加させる R6
	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<小学生>	%	-	87.4% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2	維持する R6
	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合<中学生>	%	-	86.2% 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により全国学力・学習状況調査は未実施。市独自で実施し、集計・分析を行った。	R2	維持する R6
	放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続	人	-	0 R2	0	R6

#### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK ACT

進捗状況区分	評価	令和2年度成果と今後の課題	
<input checked="" type="radio"/> 予定以上に進んでいる <input type="radio"/> 予定どおり進んでいる <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている <input type="checkbox"/> 大幅に遅れている		<p><b>《不登校児童生徒の出現率》</b> 不登校児童生徒の出現率は、保幼小中一貫教育の推進による各校園での未然防止を重点とした取組みや確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっている。しかし、解消より新規の出現が多いことから不登校の出現率が増加傾向にある。特に小学校では、前年度比0.2%の増加となっており、未然防止の取組み推進が更に必要である。</p> <p><b>《いじめの認知件数/認知率》</b> 令和2年度は、いじめの認知件数・認知率とも小中学校で減少しているが、コロナ禍の中で通常の学校生活とは異なる環境下での調査であったことを踏まえ更に結果分析をする必要がある。引き続き、些細な兆候も見逃さない組織的な対応を行うとともに、認知件数・認知率のみにとらわれず、より丁寧な指導を継続していく必要がある。</p> <p><b>《認知されたいじめの年度内解消率》</b> 令和2年度第2回いじめ調査の認知事象に基づく追跡調査結果における未解消事象については、今後も、各校のいじめ防止基本方針に基づき、実態把握や情報共有、組織的な対応を徹底し丁寧な指導を行うとともに、関係機関と連携した体制強化を図っていく必要がある。</p> <p><b>《いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合》</b> いじめはいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や追跡調査、児童生徒への丁寧な指導により、小学校ではやや減少、中学校では増加し小中学校ともに高い水準を維持している。今後も児童生徒の豊かな心を育成するため、道徳科をはじめ、学校の教育活動全体を通じた取組みの充実を図る必要がある。</p> <p><b>《学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合》</b> 学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、小学校は減少、中学校は増加した。各校園の丁寧な指導及び小中一貫教育による一貫性のある指導等によって、規範意識は確実に高まっている。引き続き、小学校低学年からの規範意識の醸成等による系統的な指導を進めていく必要がある。</p> <p><b>《人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合》</b> 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学生ではやや減少し、中学生で増加し、小中学生ともに高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、人の気持ちを理解して行動したり、発言したりすることの重要性が確実に身に付いてきている。今後も個別の配慮児童生徒への丁寧な指導が必要である。</p> <p><b>《人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合》</b> 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合は、小学校はほぼ横ばい、中学校は増加し、高い水準で推移している。教育活動全体を通じた丁寧な指導により、社会貢献等への意識が確実に身に付いてきている。今後更に高めていくため、ボランティア活動など体験学習等の充実を図る必要がある。</p> <p><b>《自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合》</b> 令和2年度は、市独自の分析のため、比較することができないが、児童生徒の回答結果から、小中学校ともに、自分にはよいところがあると感じられる児童生徒を育成する必要がある。</p> <p><b>《住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合》</b> 令和2年度は、市独自の分析のため、府や全国の数値と比較することができないが、児童生徒の回答結果から、小中学校ともに、地域の行事に参加している児童生徒は多く、今後も地域と連携しそれを維持する必要がある。</p>	

進捗状況区分	評価	令和2年度成果と今後の課題
		<p>《放課後児童クラブ待機児童数ゼロの継続》  社会環境の変化に伴い放課後、家庭で適切な保育が受けられない家庭が増加していることもあり利用が増加傾向にある。既存の施設や学校の空き教室を活用しているため、十分な保育室の確保ができないところもあるが、支援員の確保と併せ、受け入れ態勢の整備に努めていきたい。</p>

## 5. 今後の施策展開の考え方(令和3年～令和5年度での主な取組) ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの自尊感情を高め、豊かな人間性・社会性を育むため、保幼小中一貫教育による交流学習や児童会・生徒会活動などの集団活動を充実させるとともに、道徳科をはじめキャリア教育等学校の教育活動全体を通じた系統的で一貫性のある指導の更なる充実を図る。
	2	いじめや不登校など、児童生徒の多様な課題に対応するため、臨床心理士による教育相談体制を拡充するとともに、教育支援センターの相談支援機能を更に高めるなど、個の課題やニーズに応じたきめ細かな相談支援体制の整備・強化を図る。
	3	地域の子ども教室では、体験活動だけでなく、教室間での情報交流についても支援しながら教室活動の維持、拡充に努める。青少年健全育成会では、各地域ごとに子どもの体験活動を実施するほか、あいさつ運動や夏休みバトロールなどで地域の子どもの見守り活動を継続する。また平成28年度からスタートした「放課後子ども教室」事業は、安定的運営を目指す。
	4	子どもたちの芸術や自然を愛する心豊かな感性を育むため、教育活動等における文化体験や芸術鑑賞など、国や府の様々な事業や学校支援ボランティア等を活用し、伝統文化や芸術等に親しむ機会を充実させるとともに、学校図書の充足率向上を図る。

予算科目	款 10 教育費	本年度決算額 3,527千円	最終予算額 3,918千円	不用額 391千円	執行率 90.0 % (参考)当初予算額 1,777千円	部 教育委員会事務局 課 学校教育課			
	項 02 小学校費								
	目 02 教育振興費								
	事 04 小学校教育推進事業								
細事	02 小学校教育推進活動実践事業	主な財源 国補 府補 府委	学校保健特別対策事業費補助金（1/2） KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）						
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕		1,154千円 257千円 100千円						
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。								
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（講師謝金、消耗品費等） ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業） ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施）	891千円 387千円 504千円	○修学旅行引率補助金 小学校17校 引率教員69人	169千円	○修学旅行等新型コロナウイルス感染症対策費補助金 修学旅行等について密を避けるために行うバスの増便等費用を補助 小学校13校	2,291千円			
	○次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業（消耗品費） 実施校：いさなご小学校・しんざん小学校 実施年度：令和2年度～令和3年度	100千円							
	○教育研究事業負担金 京丹後市小学校教育研究会 小学校教育に関する研究を推進し、小学校教育の充実・発展と教職員の資質の向上を図るために、各教科の研究、研修会等を実施。	76千円							
	○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、キャリア教育を推進するとともに、府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、児童の基礎学力の向上を図り、豊かな人間性を育む教育の一層の推進につながった。 ○児童の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。		成果・課題						

予算科目	款 10 教育費	本年度決算額 3,161千円	最終予算額 3,527千円	不用額 366千円	執行率 89.6 % (参考)当初予算額 1,357千円	部 教育委員会事務局 課 学校教育課			
	項 03 中学校費								
	目 02 教育振興費								
	事 04 中学校教育推進事業								
細事	02 中学校教育推進活動実践事業	主な財源 国補 府補 府委	学校保健特別対策事業費補助金（1/2） KYO発見仕事・文化体験活動推進事業補助金（2/3） 未来の扱い手育成アドバイス研究事業費委託金（10/10） 次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業費委託金（10/10）						
総合計画 基本計画	26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕		1,144千円 108千円 200千円 50千円						
目的	府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むとともに、体験活動や総合的な学習活動の充実、基礎学力の向上や豊かな人間性の育成を図る。								
主要な事務・事業の概要	○校外学習や仕事・文化体験活動、総合的な学習活動（消耗品費等） ・「KYO発見 仕事・文化体験事業」推進事業（府補助事業：全校で実施） ・総合的な学習活動推進事業（市単独事業：全校で実施）	329千円 162千円 167千円	○教育研究事業負担金 京丹後市中学校教育研究会 中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るために、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。	83千円	○修学旅行引率補助金 中学校6校 引率教員54名	111千円			
	○和装教育推進事業（消耗品費、クリーニング手数料） ・着付け体験学習（全中学校） 受講生徒：455人	101千円							
	○教育実践研究指定事業（講師謝金、消耗品費） ・未来の扱い手育成プログラム研究校 実施校：弥栄中学校 実施年度：令和元年度～3年度（3か年）	250千円 200千円							
	・次世代型小・中・高連携外国語教育推進事業 実施校：峰山中学校 実施年度：令和2年度～3年度（2か年）	50千円							
			○府の研究指定校を受けて教育活動に取り組むことで、生徒の基礎学力の向上を図るとともに、規範意識、コミュニケーション能力など、豊かな人間性を育む教育の一層の推進につながった。 ○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続して実践していくため、教職員の資質の向上と併せ、各学校の創意工夫による効果的な実践活動が必要である。	2,287千円	○修学旅行等新型コロナウイルス感染症対策費補助金 修学旅行等について密を避けるために行うバスの増便等費用を補助 中学校4校	2,287千円			

予算科目	款項目細事	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部課
総合計画	13 いじめ防止推進事業	116千円	189千円	73千円	(参考)当初予算額	教育委員会事務局
基本計画	01 いじめ防止啓発推進事業				189千円	学校教育課
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕					
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	主な財源				
主要な事務・事業の概要	○いじめ防止講演会（講師謝金、消耗品費） 開催日：令和2年12月15日（火） 講 師：鳴門教育大学教職大学院 阿形 恒秀 教授 会 場：アグリセンター大宮 参加者：57人	74千円			○インターネットモラル研修会 開催日：令和3年2月16日（火） 会 場：オンライン研修（文部科学省主催全国研修） 講 師：兵庫教育大学 竹内 和雄 教授 参加者：69人 ※各小中学校の教職員がオンラインで研修を受講した。	
	○いじめ防止啓発グッズ作成（印刷製本費） いじめ防止啓発PRカードシール 小学新1年生用 450枚 街頭啓発 実施日：令和2年11月20日（金） 場 所：フレッシュバザール峰山店	14千円				
	○いじめ相談専用電話設置（通信運搬費） フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：1件	28千円	成果・課題		○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を促すことができた。 ○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。 ○相談しやすい環境づくりを推進するため、令和3年度から開始する「LINE」を利用したいじめ相談窓口を周知していく必要がある。	

予算科目	款項目細事	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部課
総合計画	13 いじめ防止推進事業	253千円	384千円	131千円	(参考)当初予算額	教育委員会事務局
基本計画	02 いじめ防止対策等運営事業				384千円	学校教育課
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実 〔 26 未来を拓く学校教育の充実 〕					
目的	いじめ問題対策連絡会議及びいじめ防止対策等専門委員会を設置し、関係機関が一体となって、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。	主な財源				
主要な事務・事業の概要	○いじめ問題対策連絡会議経費（委員数：21人） 保育所、こども園及び小中学校におけるいじめの防止対策や早期発見、いじめへの対処等に関する協議を行うため、「いじめ問題対策連絡会議」を設置し、教育、福祉、医療、保健、警察及び司法等の関係機関との連携を図った。 開催日：令和2年7月14日（火） ・報償費（委員謝金） ・旅費（費用弁償）	17千円 16千円 1千円	○いじめ防止対策等専門委員会経費（委員数：5人） いじめの防止等のための対策に関する事項や重大ないじめ事象が発生した場合に調査を行うため、弁護士、医師、臨床心理士、学識経験者からなる「いじめ防止対策等専門委員会」を設置し、会議を開催するなど、それ専門的な立場からいじめ事象に対する助言を受けた。 開催日：第1回 令和2年10月31日（土） 第2回 令和3年3月13日（土） ・報酬 ・旅費（普通旅費・費用弁償） ・消耗品費	236千円 126千円 94千円 16千円		
			成果・課題		○専門的な立場から指導・助言を受けることにより、学校に対していじめ防止等のための取組やいじめ事象の解決に向けた支援を行うことができた。 ○いじめは、どの子どもにも起こり得ることを踏まえ、いじめの未然防止及び早期発見に向けた取組を引き続き推進する必要がある。	

予算科目	款 10 教育費	本年度決算額 11,941千円	最終予算額 12,327千円	不用額 386千円	執行率 96.8 % (参考)当初予算額 12,299千円	部 教育委員会事務局 課 学校教育課															
	項 01 教育総務費																				
	目 02 事務局費																				
	事 03 指導主事設置事業																				
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源																			
基本計画	[ 26 未来を拓く学校教育の充実 ]																				
目的	学校教育及び就学前教育の充実を図るため、指導主事（会計年度任用職員）4人を配置し、専門的事項に関する指示・指導を行う。																				
主要な事務・事業の概要	4人の地域担当の指導主事を各地域公民館に配置し、学校経営や教育内容について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行い、学校現場における課題解消に向けて対応した。		<p>【指導主事配置状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配置先</th> <th>配置人数</th> <th>所管町域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山地域公民館</td> <td>1人</td> <td>峰山町</td> </tr> <tr> <td>大宮地域公民館・久美浜地域公民館</td> <td>1人</td> <td>大宮町、久美浜町</td> </tr> <tr> <td>網野地域公民館</td> <td>1人</td> <td>網野町</td> </tr> <tr> <td>丹後地域公民館・弥栄地域公民館</td> <td>1人</td> <td>丹後町、弥栄町</td> </tr> </tbody> </table>					配置先	配置人数	所管町域	峰山地域公民館	1人	峰山町	大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町	網野地域公民館	1人	網野町	丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人
配置先	配置人数	所管町域																			
峰山地域公民館	1人	峰山町																			
大宮地域公民館・久美浜地域公民館	1人	大宮町、久美浜町																			
網野地域公民館	1人	網野町																			
丹後地域公民館・弥栄地域公民館	1人	丹後町、弥栄町																			
【指導主事 4人】																					
○会計年度任用職員任用経費	11,702千円																				
・報酬	8,683千円																				
・期末手当	1,188千円																				
・共済費（社会保険料、雇用保険料）	1,531千円																				
・費用弁償	300千円																				
主要な事務・事業の概要	・市内業務移動に係る費用弁償	239千円																			
	成果・課題																				
		<p>学校経営、教育内容に対する専門知識や豊かな経験を基にした指導や助言を行うことにより、不登校を含めた生徒指導上の諸問題への対応など、複雑多様化する教育現場の諸課題の克服に資することができた。</p>																			

予算科目	款 10 教育費	本年度決算額 222千円	最終予算額 237千円	不用額 15千円	執行率 93.6 % (参考)当初予算額 237千円	部 教育委員会事務局 課 学校教育課					
	項 01 教育総務費										
	目 02 事務局費										
	事 10 就学支援・教育相談事業										
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実	主な財源									
基本計画	[ 26 未来を拓く学校教育の充実 ]										
目的	児童生徒の不登校など学校不適応の状況を、発達検査などにより把握・分析し、相談・支援体制を整え、児童生徒が安定した学校生活を送ることができるように支援する。										
主要な事務・事業の概要	○教育相談事業及び研修の実施										
	<p>各小中学校において臨床心理士による児童生徒や保護者との教育相談を実施し、当該児童生徒の通う学校の教職員へのアドバイスを行った。また、児童生徒の不登校などの学校不適応の未然防止や解消に向けての対応のあり方について、各小中学校の教育相談担当者や心の教室相談員などを対象に研修を実施した。</p>										
	・相談会場 大宮庁舎及び各小中学校										
	・実施回数 毎月2回（大宮庁舎）及び適宜（各小中学校）										
	<p>合計180回実施</p>										
	・相談件数 延べ244件										
	・教育相談担当者研修 年2回										
主要な事務・事業の概要	・事例研修 教育支援部会などにて適宜実施（各小中学校）										
	○教育支援に係る発達検査記録用紙購入費		222千円								
	・WISC-IV知能検査記録用紙、新版K式発達検査2001記録用紙など										
	成果・課題	<p>○臨床心理士による発達検査の実施、教育相談、教職員研修を実施することにより、児童生徒の学校適応が推進された。</p>									
		<p>○中学校の不登校数は若干の減少が見られる一方、小学校の不登校数が増加しているため、その要因分析を進めるとともに、不適応の未然防止、問題解消に向けて相談活動を充実させる。</p>									
	<p>○コロナ禍による学校不適応への影響がまだ十分にどうえきれていないため、関係部署との連携の下、引き続き児童生徒の様子を注視していく必要がある。</p>										

予算科目	款 10 教育費	府補 繰入金	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 学校教育課
	項 01 教育総務費		10,275千円	10,719千円	444千円	95.8 %	
	目 02 事務局費					(参考)当初予算額	
	事 10 就学支援・教育相談事業					10,580千円	
	細 02 教育支援セタ-管理運営事業						
	総合計画 26 未来を拓く学校教育の充実 基本計画 [ 26 未来を拓く学校教育の充実 ]						
目的	不登校、又はその傾向にある児童生徒の学校生活への復帰等の社会的自立を支援する。	主な財源					
主要な事務・事業の概要	不登校等にある児童生徒及び当該児童生徒の保護者に対し、教育相談及び適応指導を通じ、学校生活への復帰等の社会的自立を支援するため、京丹後市教育支援センター「麦わら」の指導員が各小中学校や関係機関と連携しながら支援を行った。						
	教育支援センター運営経費						
	配置人数 5人 教育支援センター指導員（会計年度任用職員）						
	配置体制 3人体制（各指導員 週3日 1日7時間）						
	通所児童生徒数 21人（小学生7人、中学生13人、卒業生1人）						
	相談延べ件数 1,380件						
	来所延べ人数 2,527人						
	○会計年度任用職員任用経費 9,856千円						
	・報酬 7,221千円						
	・期末手当 1,006千円						
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 1,279千円						
	・費用弁償 350千円						
主要な事務・事業の概要	成 果・課題	○教員経験の豊富な指導員による児童生徒等への学習及び生活の支援や、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、学校復帰や進路実現等の社会的自立を図ることができた。 ○小学校の不登校児童が増加していることから、さらに早期の段階で未然防止活動への対策を図る必要がある。					

予算科目	款 10 教育費	主な財源	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 学校教育課
	項 02 小学校費		53,166千円	53,558千円	392千円	99.2 %	
	目 02 教育振興費					(参考)当初予算額	
	事 04 小学校教育推進事業					58,390千円	
	細 01 小学校スクールサポーター等設置事業						
	総合計画 26 未来を拓く学校教育の充実 基本計画 [ 26 未来を拓く学校教育の充実 ]						
目的	スクールサポーターを配置し、児童一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。						
主要な事務・事業の概要	○介護職員 25人（1日7時間、週5日勤務）	配置一覧					
	○会計年度任用職員任用経費 53,161千円						
	・報酬 38,828千円						
	・期末手当 5,351千円						
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料） 7,205千円						
	・費用弁償 1,777千円						
	○事務費（校外学習引率に伴う旅費、入場料、参加負担金） 5千円						
			学校名	介護	学校名	介護	
			峰山小	4人	橘小	1人	
			しんざん小	1人	丹後小	3人	
			長岡小	1人	吉野小	1人	
			大宮第一小	3人	弥栄小	1人	
			大宮南小	1人	久美浜小	2人	
			網野北小	2人	高龍小	1人	
			網野南小	2人	かぶと山小	1人	
			島津小	1人	計	25人	
	成 果・課題	○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○児童一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					

予算科目	款 10 教育費	主な財源	府補	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 学校教育課	
	項 03 中学校費			39,572千円	39,796千円	224千円	99.4 % (参考)当初予算額 38,982千円		
	目 02 教育振興費								
	事 04 中学校教育推進事業								
	細事 01 中学校スクールサポーター等設置事業								
総合計画	26 未来を拓く学校教育の充実								
基本計画	[ 26 未来を拓く学校教育の充実 ]								
目的	スクールサポーターを配置し、生徒一人ひとりの課題・特性を的確に把握し、よりきめ細やかな指導に努めるとともに、円滑な授業を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○介護職員	4人 (1日7時間、週5日勤務)	配置一覧						
	○講師（小中一貫コーディネーター）	6人 (1日7時間45分、週4日勤務)	学校名	介護	小中一貫 コーディネーター	相談員	部活動 指導員	事務 補助員	
	○心の教室相談員	2人 (1日7時間、週5日勤務)	峰山中	1人	1人		2人	0人	
	○部活動指導員	10人 (1日1時間、年間258時間勤務)	大宮中	1人	1人		1人	0人	
	○事務補助員	1人 (1日6時間、週5日勤務)	網野中	1人	1人		2人	0人	
	○会計年度任用職責任用経費	39,363千円	丹後中	0人	1人		2人	0人	
	・報酬	29,521千円	弥栄中	1人	1人		2人	0人	
	・期末手当	3,714千円	久美浜中	0人	1人		1人	1人	
	・共済費（社会保険料、労災保険料、雇用保険料）	4,730千円	計	4人	6人	2人	10人	1人	
	・費用弁償	1,398千円							
主要な事務・事業の概要	○事務費（市内移動に伴う旅費）	209千円	成果・課題	※相談員の3校に1人の配置。  ○必要に応じてスクールサポーターを配置することで、円滑な授業や効率的な学校運営を行うことができた。 ○心の教室相談員を配置し、生徒が悩みを話せる環境を整えることで、生徒の不安を和らげることができた。また、部活動指導員を配置することで、部活動の質の向上と部活担当教諭の負担軽減を図ることができた。 ○生徒一人ひとりの課題・特性を把握するとともに、必要とする学校を的確に見極め、効果的なスクールサポーターの配置に努めていく必要がある。					

予算科目	款 03 民生費	主な財源	諸収入	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 子ども未来課	
	項 02 児童福祉費			147千円	294千円	147千円	50.0 % (参考)当初予算額 294千円		
	目 01 児童福祉総務費								
	事 03 家庭こども相談室事業								
	細事 01 家庭こども相談室事業								
総合計画	25 子育て支援の総合的な推進								
基本計画	[ 25 子育て支援の総合的な推進 ]								
目的	家庭児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	○旅費 要保護児童対策地域協議会講演会講師旅費	10千円	○京丹後市児童相談等取扱件数						
	担当者研修会等旅費	18千円	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	
	○需用費 啓発物品・事務用品等	34千円	養護	児童虐待	298	性格行動		1	
	○役務費 職員対応用携帯電話通話料（3台）	72千円	その他	135		育成	不登校	1	
	○使用料 有料道路通行料（職員研修参加）	3千円	障害	発達障害	5	適性・育児等		5	
	○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円	非行	ぐ犯行為等	0	計		445	
	○要保護児童対策地域協議会構成機関等と連携の下、児童虐待の未然防止、早期発見と適切な対応を行うとともに、支援の必要な児童や家庭（育児不安・養育力危惧・不登校等）について相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行った。		○要保護児童対策地域協議会運営状況						
	○旅費 要保護児童対策地域協議会講演会講師旅費	10千円	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者・実務者会議 2回</li> <li>・ケース進行管理会議 6回</li> <li>・ケース検討会議 161回</li> <li>・講演会 1回（令和2年11月28日開催） 参加者96人</li> </ul>					
	担当者研修会等旅費	18千円		○担当者研修等を受講し、複雑・多様化する家庭児童問題に対応するための専門的知識を向上させることができた。					
	○需用費 啓発物品・事務用品等	34千円		○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議の開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への対応や支援を行ふことができた。					
	○役務費 職員対応用携帯電話通話料（3台）	72千円		○適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携をさらに深めていくことが必要である。					
	○使用料 有料道路通行料（職員研修参加）	3千円							
	○負担金 京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円							

予算科目	款 10 教育費	府補	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 生涯学習課	
	04 社会教育費		810千円	863千円	53千円 (参考)当初予算額 1,860千円	93.8 %		
	01 社会教育総務費							
	10 家庭教育事業							
総合計画 基本計画	01 家庭教育事業 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〔 27 多様な学びを支援する社会教育の充実 〕	主な財源	家庭教育支援基盤形成事業補助金(2/3)			428千円		
目的的	発達段階に応じた学習及び交流機会を提供するとともに、PTA活動を支援することによって、全ての教育の出発点であり、子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。							
主要な事務・事業の概要	乳児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施したほか、PTA活動への支援を行った。		○子育て講座（講師謝金等） 事業 回数 延べ参加者数 乳幼児期子育て講座 3回 60人 思春期子育て講座 1回 70人 親子リフレッシュ体操教室 17回 331人 合計 21回 461人	87千円				
	○家庭教育支援チーム事業（ファシリテーター謝金等） 子育て経験者や専門的な知識・経験を持つサポーターで構成する「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行った。	562千円	○京丹後市PTA協議会補助金 ・各種研修会の参加、安全会掛金等への助成	161千円				
	※家庭教育支援チーム：計6チーム、子育てサポーター：計46人							
	事業 回数 延べ参加者数 子育て交流会 6回 101人 「手紙で結ぶ家族の絆」事業 13回 393人 子育て広場 7回 158人 高校生と赤ちゃんの心れあい交流 2回 36人 合計 28回 688人		○新型コロナウイルス感染予防のため、計画通り事業実施ができなかったが、子どもの発達段階に応じた子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割の重要性などについて啓発することができた。 ○課題を関係機関と共有し、より効果的な学習会等の実施を進める必要がある。					
	※広報紙発行：1回							

予算科目	款 03 民生費	使用料 国補 府補 府補 諸収入 市債 市債	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部 教育委員会事務局 課 子ども未来課	
	02 児童福祉費		283,042千円	284,543千円	1,501千円 (参考)当初予算額 317,477千円	99.4 %		
	03 保育事業費							
	02 放課後児童健全育成事業							
総合計画 基本計画	25 子育て支援の総合的な推進 〔 25 子育て支援の総合的な推進 〕	主な財源						
目的的	保護者の就労等により放課後や長期休業期の履間に家庭保育を受けることができない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。		○開設状況 年間開設日数：293日 (うち日曜日・祝日開設分：6日) (うち新型コロナウイルス感染症対策対応分：19日) 開設時間：授業終了後～午後6時30分 (長期休業期及び土曜日、日曜日・祝日は午前7時30分～午後6時30分) 年間平均児童数：450人（10か所、12支援単位） 峰山52人・長岡18人・いさなご36人・大宮56人 口大野①45人・口大野②45人・網野南50人・網野北49人 丹後14人・弥栄24人・久美浜①49人・久美浜②12人	○放課後児童健全育成事業委託料（10クラブ） (うち日曜日・祝日開設分) (うち新型コロナウイルス感染症対策対応分)	187,679千円 3,354千円 10,256千円			
主要な事務・事業の概要	○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費等）	5,626千円	○工事請負費 ・網野北エアコン移設工事・網野南エアコン更新工事 ・丹後地域公民館（丹後放課後児童クラブ）改修工事 ・旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事	65,233千円 1,636千円 3,992千円 59,605千円				
	○委託料（消防設備点検、浄化槽点検、児童送迎車運転等）	10,636千円	○送迎車両整備経費（峰山、網野北、弥栄 各1台）	11,765千円				
	○工事監理委託料 ・丹後地域公民館（丹後放課後児童クラブ）改修工事 ・旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事	1,049千円 94千円 955千円	○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか）	1,054千円				
			○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図ることとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。 ○新型コロナウイルス感染症対策として4月～5月に小学校が臨時休校となつた期間も開設し、保護者の就労を支援することができた。 ○11月から峰山放課後児童クラブで日曜日・祝日の開設を行い、保護者のニーズに応じた就労支援をすることができた。 ○年々増加傾向にある利用者に対応するため、小学校の空き教室の更なる活用など、施設拡充を検討する必要がある。					

予算科目	O3 民生費	2,505千円	3,000千円	495千円	(参考)当初予算額 3,000千円	部 教育委員会事務局 課 子ども未来課			
	O2 児童福祉費								
	O3 保育事業費								
	O2 放課後児童健全育成事業								
	O1 放課後児童健全育成事業（繰越）								
総合計画 基本計画	25 子育て支援の総合的な推進 〔 25 子育て支援の総合的な推進 〕	主な財源							
目的	(仮称)大宮峰山インターチェンジアクセス道路の整備に伴い、計画区域にある峰山放課後児童クラブ園舎及び付属施設を解体撤去する。								
主要な事務・事業の概要	○旧峰山放課後児童クラブ施設解体撤去等工事実施設計業務		2,505千円						
				成果・課題	解体等撤去工事を予定どおり実施することができた。				

予算科目	O1 教育費	507千円	507千円	0千円	(参考)当初予算額 780千円	部 教育委員会事務局 課 子ども未来課			
	O4 社会教育費								
	O1 社会教育総務費								
	18 子ども放課後対策推進事業								
	O1 子ども放課後対策推進事業								
総合計画 基本計画	25 子育て支援の総合的な推進 〔 25 子育て支援の総合的な推進 〕	主な財源	府補 京のまなび教室推進事業補助金（2/3）						
目的	放課後に小学校の余裕教室を子どもたちの安全・安心な居場所として活用し、地域住民の参画により、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		338千円						
主要な事務・事業の概要	○委託料 放課後子ども教室運営委託料（2か所）		507千円						
	※事業の概要								
	網野北小学校区放課後子ども教室 網野南小学校区放課後子ども教室								
	実施場所 網野北小学校施設内 網野南小学校施設内								
	委託先 放課後子ども教室実行委員会 放課後子ども教室実行委員会								
	実登録人数 29人 64人								
	参加児童数 延べ612人（1回平均26人） 延べ1,170人（1回平均50人）								
	支援員の数 延べ167人（1回平均7人） 延べ178人（1回平均7人）								
	実施日 令和2年4月～令和3年3月（授業のある水曜日の放課後）23回								
	活動内容 自主学習、体験活動、集団遊び、自由遊び、スポーツなど								
	※実登録人数は令和3年3月末時点の人数。								
	※新型コロナウイルス感染症対策のため、両教室とも実施回数を、当初38回を23回とした。								
				成果・課題	○子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）として放課後子ども教室を開設し、地域住民の協力を得て子どもたちに世代間交流の機会を提供するとともに、さまざまな体験活動を実施することができた。 ○子ども教室の運営は、地域住民の協力を得て実施することになっており、スタッフの確保が課題である。				